



日本音楽舞踊会議  
The Conference of Music and Dance Japan

日本音楽舞踊会議 作曲部会公演  
**作曲部会作品展**

2015年5月14日(木)  
すみだトリフォニーホール(小ホール)

主催：日本音楽舞踊会議 作曲部会

後援：日本音楽舞踊会議  
(The Conference of Music and Dance Japan)

季刊「音楽の世界」

## 《ごあいさつ》

本日はお忙しいところ日本音楽舞踊会議（CMDJ）作曲部会作品展にご来場下さいまして有難うございます。  
1962年に創立された日本音楽舞踊会議の中でも活発に活動して来た作曲部会会員の新作発表の場として、また旧作再演の場としてほぼ毎年この時期に開催しております。出品者の意欲的な作品が上演され今回は、会員以外の参加もあり、このコンサートの広がりを見せています。

どうぞ、最後までご鑑賞いただき、御高評を頂戴出来れば幸いです。

作曲部会長 高橋 通

出品者一同

## プログラム

### 1. 桑原洋明

クラリネットとピアノのための「三つの心象風景」

1. 憧れ 2. ときめきの踊り 3. 憂い、そしてやがての愛

Cl. 倉内理恵 Pf. すずきみゆき

### 2. 穴原雅己

「5つの無言歌」(初演)

1. 春の日ざし 2. 小さい歌 3. バガテル 4. スケルツァンド 5. 朝の散歩

Pf. 長谷川芙佐子

### 3. すずきみゆき

「ふるさとの歌」

雪 詞：すずきみゆき / いちばん星 詞：別所孝広

種子(たね) 詞：寺山修司 / ぼくが死んでも 詞：寺山修司

Sop. 鈴木みさと Pf. すずきみゆき

### 4. 橘川 琢

アンビエントなトランペットとピアノによる「想風歌二章」op.65 (初演)

Trp. 小西徹郎 Pf. 森川あづさ

—— 休憩 ——

### 5. 浅香 満

こもりうた (詞：ばんどう さとみ)

四季に寄せて

1 春～桜法師 (詞：黒木 瞳) 2 夏～せみを鳴かせて (詞：巽 聖歌)

3 秋～秋の夜 (詞：黒木 瞳) 4 冬～雪と驢馬 (詞：巽 聖歌)

Sop. 菅 純子 Pf. 樋口真千子

### 6. 高橋 通

クラリネットとピアノのためのソナチネ“ノクターン”(初演)

Cl. 藤本彩花、 Pf. 森川あづさ

### 7. 金藤 豊

「たつたやま」古今和歌集 雑歌 下 994 在原業平

風ふけば おきつ白波 たつたやま 夜半にや君が ひとりこゆらむ

「よなばりの」萬葉集 上 203

ふる雪は あはにな降りそ 吉隠の 猪養の岡の 塞なさまくに (寒からましに)

Sop. 中嶋啓子 Pf. 鈴木菜穂子

## 1. 桑原洋明

### クラリネットとピアノのための「三つの心象風景」

1. 憧れ 2. ときめきの踊り 3. 憂い、そしてやがての愛

Cl. 倉内理恵 Pf. すずきみゆき

この曲は 35 年程前にサロンコンサート用に書いた作品です。若い二人の心象風景を音に託したもので、一曲目は片思いの 憧れ で心に沸き起こる思慕の念ゆえの煩悶、やがて内心をうちあけての逢瀬。そのが二曲目の ときめの踊り として表現されますが、しかしふとした諍いでけんか別れ故の恋情は一層募り、張り裂けんばかりの心は 憂い に満ち、やがてわだかまりは氷解し、三曲目の そしてやがての愛 へと曲は移り、讃歌でクライマックスを迎え、曲は静かに終わります。

演奏されたお二人に感謝申し上げます。



#### ●桑原洋明（作曲）

国立音楽大学作曲学科卒。高田三郎、島岡譲、外崎幹二に師事。

管弦楽作品 「津軽風土記」「三つの塑像」 吹奏楽作品 「三つの断章」「ドリアンラブソデー」「白鷺幻影」 室内楽作品 「フルートとピアノのための組曲 日本の四季」「クラリネットとピアノのための蛇性奇譚」「ピアノ奏鳴曲 伊勢之海」他



#### ●倉内理恵（クラリネット）

桐朋学園大学音楽学部音楽学科卒業。桐朋オーケストラ・アカデミー研修過程修了。2012 年ドイツ・コンスタンツにて、ソリストとして南西・ドイツフィルハーモニー交響楽団と協奏曲を共演。2014 年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトX II に出演。

#### ●すずきみゆき（ピアノ）

3. すずきみゆきの項を参照



## 2. 穴原雅己

### 「5つの無言歌」（初演）

1. 春の日ざし 2. 小さい歌 3. バガテル 4. スケルツァンド 5. 朝の散歩

Pf. 長谷川美佐子

この「5つの無言歌」は、作曲者が少年時代から40代初め頃までの間に作曲したもので、「春の日ざし」は1966年（小学4年頃）に脳裏に浮かんだ曲想を1975年にピアノ曲として仕上げたもの、「小さい歌」は1975年作曲、バガテルは1997年作曲、スケルツァンドは1971年頃（中学3年頃）脳裏に浮かんだ曲想を1992年頃ピアノ曲として仕上げたもの、「朝の散歩」は1983年に主部を、1987年に中間部とコーダを作曲したものです。すべて今回が初演となります。



## ●穴原 雅己 (作曲)

群馬県生まれ。作曲を黒髪芳光、中島洋一の各氏に師事。作品には、管弦楽曲・室内楽曲・ピアノ曲・声楽曲などがある。「2003ひびけ野ばらコンサート」作曲募集(松本市)佳作、群馬県童謡作詞作曲家協会主催第10回及び11回童謡作曲コンテスト入賞。当会をはじめ、日本童謡協会主催の公演(童謡祭、こどものコーラス展)などでも作品を発表している。日本音楽舞踊会議会員、日本童謡協会会員。太田市役所勤務。



## ●長谷川 芙佐子 (ピアノ)

国立音楽大学ピアノ科卒業。クラシック、ジャズ、タンゴ、童謡・唱歌、子守唄、民謡…オールラウンドマルチプレーヤーとして、ソロ活動のほか様々なジャンルの演奏家と演奏およびアレンジャーとして共演、全国で演奏活動をしている。シリーズ「歌い継ごう日本の歌」、「コンサート“わ”」等を企画開催。第43回日本童謡賞特別賞受賞。参加CD「夢路より」、「世界のこもりうた」(opus55)「母の歌」(コミビア) 赤とんぼ～三木露風童謡詩集(ネット武蔵野)ほか。公式サイト <http://www.k-create.info>



## 3. すずきみゆき

## 「ふるさとの歌」

雪 詞：すずきみゆき / いちばん星 詞：別所孝広

種子(たね) 詞：寺山修司 / ぼくが死んでも 詞：寺山修司

Sop. 鈴木みさと Pf. すずきみゆき

あの日、創作活動の原点である故郷の海が壊れ、いたたまれない思いで2年前に故郷に戻りました。今回は出品の急なお話に初演済みの作品の中から故郷への想いを歌う4曲を選びました。演奏して頂くソプラノの鈴木みさとさんに心より感謝申し上げます。最後に歌詞の中から私の好きなフレーズを紹介させていただきます。(すずきみゆき)

- ・雪は ゆめに よくにてる つかむと しゅるり すぐきえる (すずきみゆき「雪」より)
- ・この地にも きっとあるはず 目をこらし いちばん星をさがそうよ (別所孝広「いちばん星」より)
- ・きみは 花の咲かない故郷の渚にでも 種子をまくことができるか? / たとえ 世界の終わりが明日だとしても 種子をまくことができるか? (寺山修司「種子(たね)」より)
- ・ぼくが死んでも 歌などうたわず いつものようにドアを半分あけといてくれ そこから 青い海が見えるように (寺山修司「ぼくが死んでも」より)



## ●すずきみゆき (作曲/ピアノ)

1955年、岩手県宮古市生まれ。3才よりピアノ・創作を始め、可憐な生物の住む自然界の弱肉強食のダイナミズムに心を動かされ表現活動を続けている。東京芸術大学卒業。在学中、モスクワに渡りグネーシン音楽学校においてレオニード・オグリinchuk氏にピアノを師事。現在は、すずきミュージックで後進の指導に当たりながら、管弦楽を中心

とした作曲や編曲、現存の作曲家の新曲初演（ピアノ演奏）、公開講座講師、コンクール審査を行う。主要作品：組曲「陸中の海」、「雪」詞 すすきみゆき、「みんなで歌おう愛唱歌」詩 なかむら Juju、「種子（たね）」詩 寺山 修司、「夢の中の森」、久光良一・すすきみゆき愛唱句集。



●鈴木みさと（ソプラノ）

武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。第8回東京声楽コンクール第2位（1位なし）。ソロ及びジョイントリサイタル、チャリティー他各種コンサートへの出演、オーケストラはじめ多様な楽器やジャンルのアーティストとの共演、講座やコンサートの企画運営等広く活動を行う一方で、合唱指導をはじめ、楽器としての身体作りから始める体系的な発声法によるヴォイス・トレーニングでも成果を上げている。東京室内歌劇場会員。



4. 橘川 琢

アンビエントなトランペットとピアノによる「想風歌二章」op.65（初演）

Trp. 小西徹郎 Pf. 森川あづさ

この曲は卓越したアンビエントなトランペット奏者の小西徹郎氏と、拙作初演を数多く手がけて下さっている森川あづさ氏の個性を生かした作品である。第一章では短歌や俳句の世界でうたわれる侘びた風の感覚を、第二章は田園風景、季節の境目に吹く一陣のそよ風や風景を音楽の形で描いてみた。点描のような風・音がささやくような優しい残響・レゾナンス空間に身を委ねて聴いて頂けたら幸いである。演奏時間は2章合わせて約13分。



●橘川 琢（作曲）

作曲を三木稔、助川敏弥の各氏ほかに師事。第2回牧野由多可賞作曲コンクールファイナリスト。文部科学省音楽療法専門士。2005年度（第60回記念）文化庁芸術祭参加。06年08年度文化庁「本物の舞台芸術体験事業」に自作が採択される。「新感覚抒情派（『音楽現代』誌）」と評される現代クラシック音楽・現代邦楽作品を作曲、作品は New York ほか海外で演奏されている。日本音楽舞踊会議理事。季刊「音楽の世界」副編集長。www.migaku-k.net



●小西徹郎（トランペット）

トランペットで空気を歌う即興演奏家。現代美術や現代舞踊、電子音楽とのコラボレーションをはじめ、教育プログラム、イベントなどの企画演出またプロデュースにアートディレクター、コーディネーターなど多くの顔を持つ。NHKラジオドキュメンタリー番組、NHKスペシャル、コシノヒロコ2014 東京コレクション、パイオニア株式会社などへの楽曲提供、音楽雑誌にてエッセイの連載など多方面で活動中。



●森川あづさ（ピアノ）

これまでに「詩と音楽を奏でる〜トロッタの会」を中心に、数々の初演を手がける。都立芸術高校、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。

## 5. 浅香 満

・こもりうた (詞: ばんどう さとみ)

・四季に寄せて

- 1 春～桜法師 (詞: 黒木 瞳)
- 2 夏～せみを鳴かせて (詞: 巽 聖歌)
- 3 秋～秋の夜 (詞: 黒木 瞳)
- 4 冬～雪と驢馬 (詞: 巽 聖歌)

Sop. 菅 純子 Pf. 樋口真千子

「四季に寄せて」の1曲目「桜法師」(春)と3曲目「秋の夜」(秋)は共に黒木瞳の詩による「大人の女性」の感性の結晶、2曲目「せみを鳴かせて」(夏)と最後の「雪と驢馬」(冬)は巽聖歌の童謡による子供の、或いは子供に向けた純粋な視点で描かれた世界です。そして、この両者の交錯する綾で綴られたあたたかいハーモニーを冒頭の「こもりうた」に込める配置としました。



## ●浅香 満 (作曲)

早稲田大学第一文学部中退。東京藝術大学作曲科卒業。同大学大学院修了。これまでに、<ヨーロッパ・アジア国際音楽祭>(ロシア)、<ヤノヴィエック国際音楽祭>(ポーランド)はじめ、ルーマニア、ハワイ、イタリア、フィンランド、韓国等で開催された国際音楽祭に度々招かれ、作品は何れも大好評を博している。沖縄本土復帰20周年記念演奏会、ハビビ元インドネシア大統領歓迎演奏会等の委嘱を受けた他、故・本田美奈子を始めとするアーティストのための編曲も数多く手掛ける。日本作曲家協議会、日本・ロシア音楽家協会、日本音楽舞踊会議各会員。



## ●菅 純子 (ソプラノ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。同大学特別専修科修了。在学中、石村雅子賞受賞(成績最高者)。第43期二期会オペラ研修所マスタークラス修了。第49回全日本学生音楽コンクール大阪大会第3位。ベートーヴェン『第九』、フォーレ『レクイエム』、モーツァルト『戴冠ミサ』のソリストを務める。ソロCD「アヴェマリア」をリリースしたワーレコード渋谷店にてインスタイベント開催。東京二期会会員、京都音楽家クラブ会員。



## ●樋口真千子 (ピアノ)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、卒業演奏会出演。第6回かながわ音楽コンクール一般ピアノ部門第2位。「2001年度国際芸術連盟音楽賞」受賞。JILAレーベルより「YOURS I, IV, V」リリース。ソロの他伴奏にも力を入れ、近年ではポップス、ラテン、ジャズなどのライブも精力的に行っている。ピアノを北川正、故中根伸也、故林美奈子、作曲を故穴戸睦郎、ジャズピアノを石黒直子各氏に師事。スガナミ楽器受験コース講師。

## 6 高橋 通

### クラリネットとピアノのためのソナチネ“ノクターン”(初演)

Cl. 藤本彩花、 Pf. 森川あづさ

3つの楽章からで来ている。「ノクターン」は短い第2楽章の副題に由来している。演奏時間は約9分。



#### ●高橋 通(作曲)

神奈川県小田原市出身。日本医科大学大学院卒業。医学博士。作曲家、一絃琴演奏家。ピアノを故川村蔦子師に、作曲を田辺恒弥師に、一絃琴を故山本游魚師に師事した。

日本音楽舞踊会議(CMDJ)に所属。幽意一絃琴鳴琴会を主宰。箏サマーコンサートの会代表。「すばるの会」代表。



#### ●藤本 彩花(クラリネット)

広島県出身。12歳よりクラリネットを始める。

エリザベト音楽大学演奏学科クラリネット専攻卒業後、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程を修了。これまでにクラリネットを翁優子、武田忠善、鈴木良昭、三界秀実、磯部周平の各氏に師事。

現在フリー奏者として各地での演奏のほか、指導者としても活動中。

#### ●森川あづさ(ピアノ)

4. 橘川 琢の項を参照



## 7. 金藤 豊

「たつたやま」古今和歌集 雑歌 下 994 在原業平

風ふけば おきつ白波 たつたやま 夜半にや君が ひとりこゆらむ

「よなばりの」萬葉集 上 203

ふる雪は あはにな降りそ 吉隠の 猪養の岡の 塞なさまくに (寒からましに)

Sop. 中嶋啓子

Pf. 鈴木菜穂子

1 「たつたやま」古今和歌集 雑歌 994 在原業平

前に、伊勢物語より数首 芥川、筒井筒、かきつばた、等の連作として十五絃と歌のために書いたのですが、この度はピアノと歌に致しました。

2 「よなばりの———」萬葉集 上 203 穂積皇子

雪の降る冬の日、但馬皇女の御墓の在る吉隠の方を見つめて、雪よ降り積もらないで呉と———



## ●金藤 豊 (作曲)

作曲を伊藤 昇、清瀬保二、V. セアール他、クラシックギターを国藤和枝他に師事。

作品 VI.SONATA 2 番 (西行ソナタ)、被爆者の葬煙 (尺八、Pf.)、静御前に捧ぐる挽歌 (女声合唱、尺八、打、Pf.) 等



## ●中嶋啓子 (ソプラノ)

山梨大学音楽科卒業。片野坂栄子氏に師事。ミラノ音楽院に留学しカルラ・ヴァンニーニ、マルガレータ・グリエルミ女史のもとで発声法を研究。1996年以降、中嶋恒雄歌曲作品をすべて初演する。2012年、チェコ共和国クロムニェジーシュ Festival Forfest に招かれ、中嶋恒雄の歌曲を演奏し、好評を博した。



## ●鈴木菜穂子 (ピアノ)

東京都出身。3歳よりピアノを始める。YAMAHA 音楽教室にてピアノ、エレクトーン、作曲等を学ぶ。在籍中、JOC ドイツ・スイス公演にて自作のピアノコンチェルトをオケと演奏。他、多数のコンサートに出演。子供の為の音楽教室を経て、桐朋女子高等学校音楽科、同大学、同研究科修了。在籍中、Dang Thai Son、Vladimir Tropp 氏 他多数の公開レッスンを受講。2004年親友 (vn.) と共にローザンヌ夏期講習に参加。Pierre Amoyal (vn.)、Bruno Canino (pf.) 両氏に師事。これまでに斎木ユリ、徳丸聡子の各氏に師事。

現在は伴奏、介護施設や教会等での演奏、現代曲の初演などフリーで活動中。